

海賊対処行動水上部隊が無事任務を終え帰港

～ 第 50 次派遣海賊対処行動水上部隊帰国式典の様式典の模様 ～

第 50 次派遣海賊対処行動水上部隊がソマリア沖・アデン湾に向けて、2025 年 2 月に日本を発って以来、約 6 か月ぶりとなる 2025 年 8 月 2 日に長崎県 佐世保港に帰港した。

同隊は、高城正太艦長が指揮を執る護衛艦「あさひ」であり、徳永省吾隊長ら 8 名の海上保安官を含む約 200 名の乗員が、事故無く任務を遂行し、無事帰国した。

派遣期間中は、ソマリア沖・アデン湾周辺海域においてゾーンディフェンスで商船の安全を確認したほか、中東地域における関係船舶の安全確保に必要な情報収集活動も行ってきた。

式典では、高石景太郎統合幕僚監部総務部長が「我が国から遠く離れたソマリア沖・アデン湾において、約 6 か月間の派遣海賊対処行動を無事に終え帰国したことを心から嬉しく思う。高城艦長の指揮統率のもと「あさひ」による国際貢献は、海賊行為の抑止と中東海域を航行する船舶の安全確保に大きく寄与した。」と金子容三防衛大臣政務官の訓辞を代読した。

続いて、伍賀祥裕護衛艦隊司令官が、「中東情勢が不安定な状況のなか、海上保安官とも緊密に連携し、海賊対処行動並びに情報収集活動を行うことで我が国を始めとする商船の安全航行に大きく貢献した。派遣期間中の諸君の努力と献身に敬意を表する。」と大町克士自衛艦隊司令官の訓辞を代読した。

また、彼末浩明海上保安監は、隊員に対して今回の任務の成功に最大の敬意を表するとともに、今後の活躍を期待する旨の挨拶を行った。

厳しい暑さの中での式典では各出席者の挨拶が省略されたが、当協会 長澤会長の代理として出席した平尾常務理事は、高城艦長、徳永隊長ほか乗組員に直接お礼の言葉を伝えた。

海運業界からは、飯野海運 落岩海務部長、NS ユナイテッド海運 高見執行役員、川崎汽船 三好安全運航チーム長、商船三井 米田海上安全部長、日本郵船 増富グループ長代理、三菱鉱石輸送 足立取締役・安田船舶管理グループ長、国際船員労務協会 綾会長・今田理事、全日本海員組合 池谷国際局長らが参加した。

(海務部 事務局)

帰国行事



高石統合幕僚監部総務部長



伍賀護衛艦隊司令官



彼末海上保安監



高城艦長



訓辞を伝える伍賀司令官



表彰を受けた高城艦長



一糸乱れぬ所作で整列した乗組員



無事帰国した乗組員



高城艦長へ謝意を伝えた平尾常務理事



海賊対処行動に感謝



佐世保に無事帰港した護衛艦「あさひ」



今回の参列者